※令和４年度以降入学生用

学校番号	3020

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	詳述歴史総合（実教出版）						
副教材等	新詳歴史総合（浜島書店）詳述歴史総合マイノート（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、社会の形成者となるみなさんが、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を主体的に考察・構想できるように配慮した科目です。現代の社会の基本的な構造がどのような歴史的な変化の中で形成されてきたのか、またそれは、みなさん自身が向き合う現代的な諸課題とどのように関わっているのかなどについて課題意識をもって考察できるように構成されています。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義,特色などを多面的・多角的に考察する。 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち	・近代化への胎動	a: 18 世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。 b: 18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 前近代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	小テスト，定期考査，準拠演習ノートなど	定期考査レポートノート，準拠演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
		・欧米の市民革命と国民国家の形成	a: 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 b:政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	小テスト，定期考査，準拠演習ノートなど	定期考査レポートノート，準拠演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
		・アジアの変容と日本の近代化	a: 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて，立憲体制と国民国家の形成を理解している。 b:アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 19 世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	小テスト，定期考査，準拠演習ノートなど	定期考査レポートノート，準拠演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

２学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・帝国主義の時代	a:列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 b:帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c: 19 世紀末～20 世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	小テスト，定期考査，準拠演習ノートなど	定期考査レポートノート，準拠演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
		・第一次世界大戦と大衆社会	a:総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 b:第一次世界大戦の性格と惨禍，日本と アジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的･多角的に考察し，表現している。 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c: 1910～1920 年代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	小テスト，定期考査，準拠演習ノートなど	定期考査レポートノート，準拠演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
		・経済危機と第二次世界大戦	a:世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b:各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c: 第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	小テスト，定期考査，準拠演習ノートなど	定期考査レポートノート，準拠演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など

※令和４年度以降入学生用

3学期	グローバル化と私たち	・冷戦と脱植民地化	a: 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理，日本の高度経済成長などを基に，国際政治の変容を理解している。 b:日本の高度経済成長の背景と影響，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察，表現している。 c: 1950～1970 年代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	小テスト，定期考査，準拠演習ノートなど	定期考査レポートノート，準拠演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
		・多極化する世界	a: 石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解している。 b:市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 1970～80 年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	小テスト，定期考査，準拠演習ノートなど	定期考査レポートノート，準拠演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など
		グローバル化と現代世界	a:冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 b:冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 1989 年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。	小テスト，定期考査，準拠演習ノートなど	定期考査レポートノート，準拠演習ノートなど	活動の様子の観察，レポート，口頭発表など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度